

団体名：苫小牧腎友会
回答日：平成 29 年 12 月 22 日

要望書（回答）

- ① 苫小牧市では、重度障害者タクシー料金助成制度、福祉ハイヤー助成制度、市内路線バス無料乗車証交付制度があります。これに加え、3年前から自家用車による通院の補助として、年額 9,000 円の支給を受けられるという選択肢が増えました。透析患者の自家用車に対する通院補助は、通院の実態に即したものであり、非常にありがたく思っております。しかしながら、通院に要する実際のガソリン代を考えると、現状の補助では不足していると言わざるを得ません。なぜなら、苫小牧は東西が約 40km と横長の地形であり、自宅から病院までの片道の距離を 7km とし、月の通院回数が 13 回なので、年間で通院の総距離が 2184km となります。自家用車の燃費が 15km/L の場合、レギュラーガソリンを 120 円/L と仮定すると、計 17,472 円となり、現在の補助額 9,000 円とは、約 8,000 円の差があります。このような状況を踏まえ、我々としては、年額 12,000 円へ増額することを望みます。当然、市の財政状況によっても実現の可否が変わってくるものと存じます。このことについて検討頂けますようお願いいたします。

【回答】（福祉部障がい福祉課 担当）

自家用車による通院をしている方を対象とした重度心身障害者通院交通費助成制度は、従来のバス、ハイヤー、タクシーといった公共交通に関する助成制度の利用が難しい場合や、実情に合わない場合にも御利用いただけるようにと、選択肢を増やす目的で平成 27 年度から開始した制度です。

本制度の年額を引き上げる旨の御要望ですが、従来の公共交通に関する助成制度が実情に合わない方々の声を伺いながら制度設計を行った経緯があることから、年々着実に受給者数が伸長しておりますし、制度開始から 2 年間と間もないことから、今しばらくは現行の内容のまま実施していきたいと考えております。

- ② 苫小牧腎友会では、昨年より Facebook のページを立ち上げ、実施したイベントについての情報を発信しております。当腎友会の活動をますます活発にするために、より多くの透析患者の皆さんや健常者の皆さんに我々腎友会の活動を知って頂くことが重要です。昨年の請願でもお願いしていたことなのですが、苫小牧市のホームページの中に苫小牧腎友会の Facebook ページを紹介するコーナーを設けて頂けますよう、ご検討のほどお願い致します。

団体名：苫小牧腎友会

回答日：平成 29 年 12 月 22 日

【回答】（福祉部障がい福祉課 担当）

本市としましても、貴会の活動について広く周知が図られることは腎臓病を抱える方々の安心につながるものと考えております。

本市のホームページ上における貴会 Facebook ページの紹介についてですが、現在発行している障がい者地域生活支援ハンドブック「逢」において、貴会の概要を掲載させていただいており、データ版を本市のホームページ上で配信しております。平成 29 年度にハンドブック「逢」の更新を予定しておりますので、貴会のスペースに Facebook の URL を掲載していただくなどといった御対応をお願いしたいと考えております。

- ③ 臓器移植は透析患者が透析を逃れる唯一の手段です。北海道では 547 人の腎臓の移植希望者がいながら、今年に入ってこれまでの移植の実績は 6 件と中々進んでいないのが現状です。できるだけ多くの方に臓器移植の現状を知って頂くには、人の多い場所で情報を提供することが重要です。現在、「臓器移植推進と病気を理解し、健康の大切さを知って頂くビデオコーナーの設置」が保健センターに設けられております。これに加え、市役所庁舎は市民の出入りが多い場所ですので、テレビが設置されている箇所定期的に臓器移植を推進する動画資料を再生し、移植の現状についての情報を提供することについてご検討頂きたいと存じます。

【回答】（健康子ども部健康支援課 担当）

臓器移植の普及につきましては、全戸配付をしている我が家の健康カレンダーに、臓器移植に関するお知らせを掲載しているほか、本年 10 月の「臓器移植普及推進月間」には、市役所庁内放送で、来庁者向けのメッセージを放送いたしました。

（メッセージ内容）御来庁の皆様、10 月は臓器移植普及推進月間です。

『いのちへの優しさとおもいやり』家族や大切な人と、「移植」のこと、「いのち」のことなど話し合い、臓器提供に関するお互いの意思を確認し合う機会を持ちましょう。

今後は、市役所庁舎 1 階住民課前モニターでの動画広告の活用を検討していきます。

団体名：苫小牧腎友会

回答日：平成 29 年 12 月 22 日

- ④ 苫小牧腎友会では、会の催事の告知などで配布するリーフレットを市の活動センターに設置されたリソグラフで印刷しております。一昨年に機器が更新されたものの、このリソグラフがやや古い機種であるため、写真が載る資料については印刷が不明瞭で、使いづらいと言わざるを得ません。

活字だけでなく写真も鮮明に印刷できる新しいリソグラフの機種へと更新し欲しいという願いは、我々腎友会だけでなく、難病連苫小牧支部でも同様です。また、それ以外でも、このリソグラフを利用している多く団体の方にとっても有益であることは明らかです。このような経緯で、市活動センターのリソグラフの更新についてご検討頂きたく存じます。

【回答】（福祉部総合福祉課 担当）

市民活動センターのリソグラフは、市で設置したものではなく、館の指定管理者である苫小牧市社会福祉協議会が自主財源で、利用者の方に御使用いただくために設置しております。

現在設置しているリソグラフは、平成 28 年 4 月に更新しており、5 年間のリース契約となっております。そのため、早急な更新は困難ですが、次回更新時の平成 33 年に向けて、苫小牧市社会福祉協議会と使用頻度や利便性を考慮したうえで判断していただけるよう協議してまいりたいと考えておりますので、御理解願います。

- ⑤ 災害時の要支援者の確認と名簿作成の活動をして頂いていることについて感謝申し上げます。要支援者を把握することは、災害対策の第一歩として、たいへん意義があることで、今後もこの活動を継続して頂けるよう、お願い申し上げます。このことに関して、苫小牧腎友会がお役に立つことがあればどのようなことでも協力は惜しまないつもりですので、宜しくお願い致します。さらに、名簿等が整った次の段階として、実際に災害が起きた際の要支援者への駆けつけ行動は、町内会の単位で行うのが現実的と考えられますので、居住地区や集合住宅の部屋単位での要援護者支援、避難誘導の役割分担について、具体的な訓練を継続して頂けますようお願い申し上げます。

また、私達の透析には透析設備とスタッフ、透析機械を動かす電力を得る予備発電機に加え、大量の水が必要です。透析を行うには、これらの確保が必須です。さらに、透析施設が使用不能の状態を想定した対策として、苫小牧市と北海道透析医会と市域内だけでなく、市域を超えて施設側との事前協議や患者の受け入れ医療機関との打ち合わせも必要と思われれます。このことについて検討頂けますようお願い致します。

団体名：苫小牧腎友会

回答日：平成 29 年 12 月 22 日

【回答】（市民生活部危機管理室 担当）

避難行動要支援者名簿につきましては、現在、町内会の御理解のもと、市から町内会へ名簿を提供し、地域での支援体制の整備に向けた取組を随時進めているところです。

要配慮者支援の訓練としては、昨年はおえぎ町町内会を中心とした津波避難及び避難所開設訓練において、本年は総合防災訓練を通じて警察及び消防団と連携して逃げ遅れた要配慮者の救出・救助訓練を行いました。

市としても、今後とも町内会と相談しながら、特に支援者名簿を提供した町内会については、名簿の活用を想定した訓練が実施されるよう努めてまいります。

これらの訓練実施に関する情報や訓練での成果・課題等は、苫小牧腎友会様とも情報交換し、今後の対策に役立ててまいりたいと考えております。

また、要支援者名簿に記載されている方で、透析等の対応が必要な方については、避難先から透析可能な医療機関への移送を含め、予め対策を講じておくことが必要と考えております。

市内には透析が可能な災害拠点病院として王子総合病院と市立病院が指定されておりますが、広域的な透析患者の受入体制の確保については、北海道を通じて北海道透析医会に相談してまいりたいと考えております。

⑥ 現在まで治療法がなかった難病を自分の細胞を使って必要な臓器を再生する道を開いた iPS 細胞に代表される再生医療は、目の網膜、筋萎縮性側索硬化症（ALS）、パーキンソン、アルツハイマー、脳梗塞、脊髄損傷などの難病の治療への扉を開こうとしています。5 年前から全腎協、道腎協、苫小牧腎友会において iPS 細胞による再生医療への協力と推進を活動計画に入れ、希望を持って活動しております。全国に先駆け、全道の患者、家族、施設、協力団体の皆さんで、iPS 細胞による再生医療への支援として、募金と研究者への励ましの手紙など患者それぞれの思いをお届けする活動を行っております。研究の進捗をただ傍観しているのではなく、少しでも研究の後押しをしたいとの思いからです。そして、これらの医療の進歩が私達患者に生きる勇気を与えてくれますし、また、市民の皆さまにも関心を持ってもらうことで、病気を抱える患者の理解にもつながればと願っております。また、苫小牧に住む患者、市民の皆さまがお互いを理解しあい、共生、共存の出来る街、福祉の街づくりに役立つことを心から願っております。市民の皆さまが再生医療に関する情報に接する場を設けて頂けるような配慮をお願い致します。

団体名：苫小牧腎友会

回答日：平成 29 年 12 月 22 日

【回答】（健康こども部健康支援課 担当）

再生医療につきましては、iPS 細胞を用いた移植手術が行われるなど、着実に成果を上げており、これまで有効な治療法がなかった疾患の治療ができるようになるものと、大いに期待しているところです。

なお、平成 29 年 11 月 30 日付けで再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則の一部改正が行われたことにより、厚生労働省のホームページから、再生医療等提供機関の名称や再生医療等の名称が確認できるようになりました。

今後は、このことを患者さんや市民の皆さんに周知する方法を検討したいと考えております。